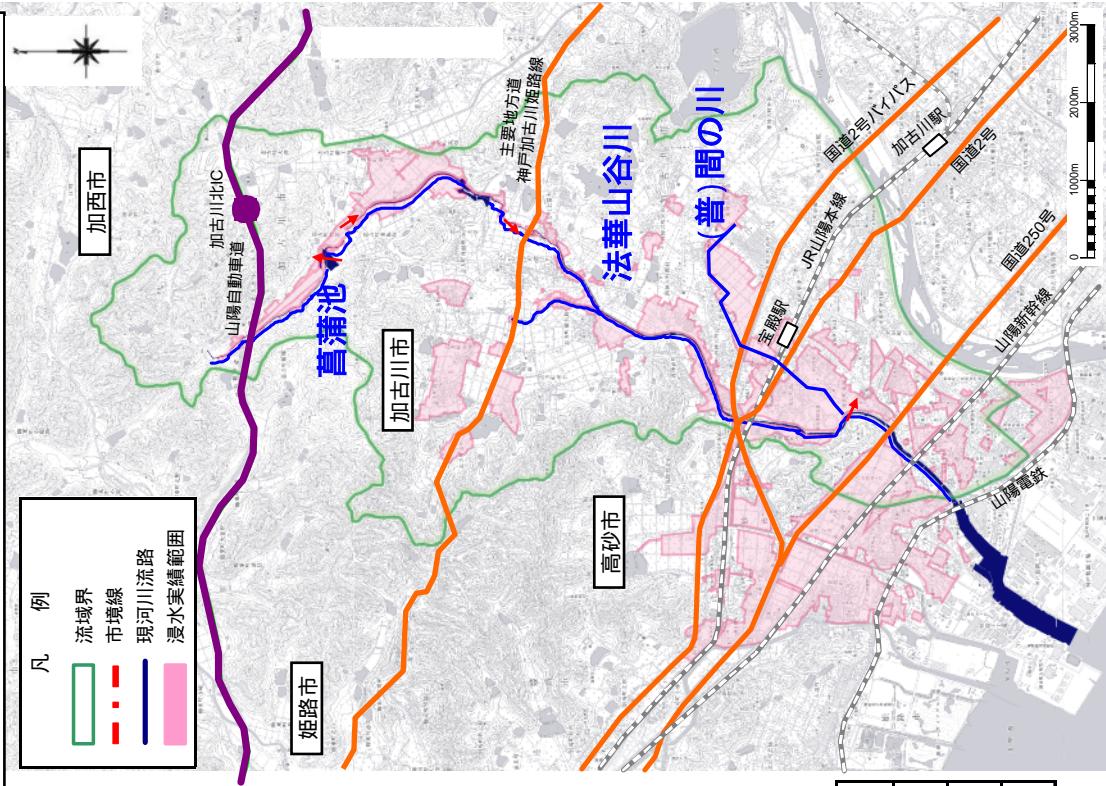


被災・出水状況(平成23年9月台風第12号)

平成23年台風第12号洪水により、下流域から上流域までの広い範囲で、大規模な浸水被害が発生。浸水面積418ha、浸水家屋1,640戸(床上浸水424戸、床下浸水1,216戸)。
法華山谷川の増水に起因するものを計上



(二) 法華山谷川 浸水被害集計表

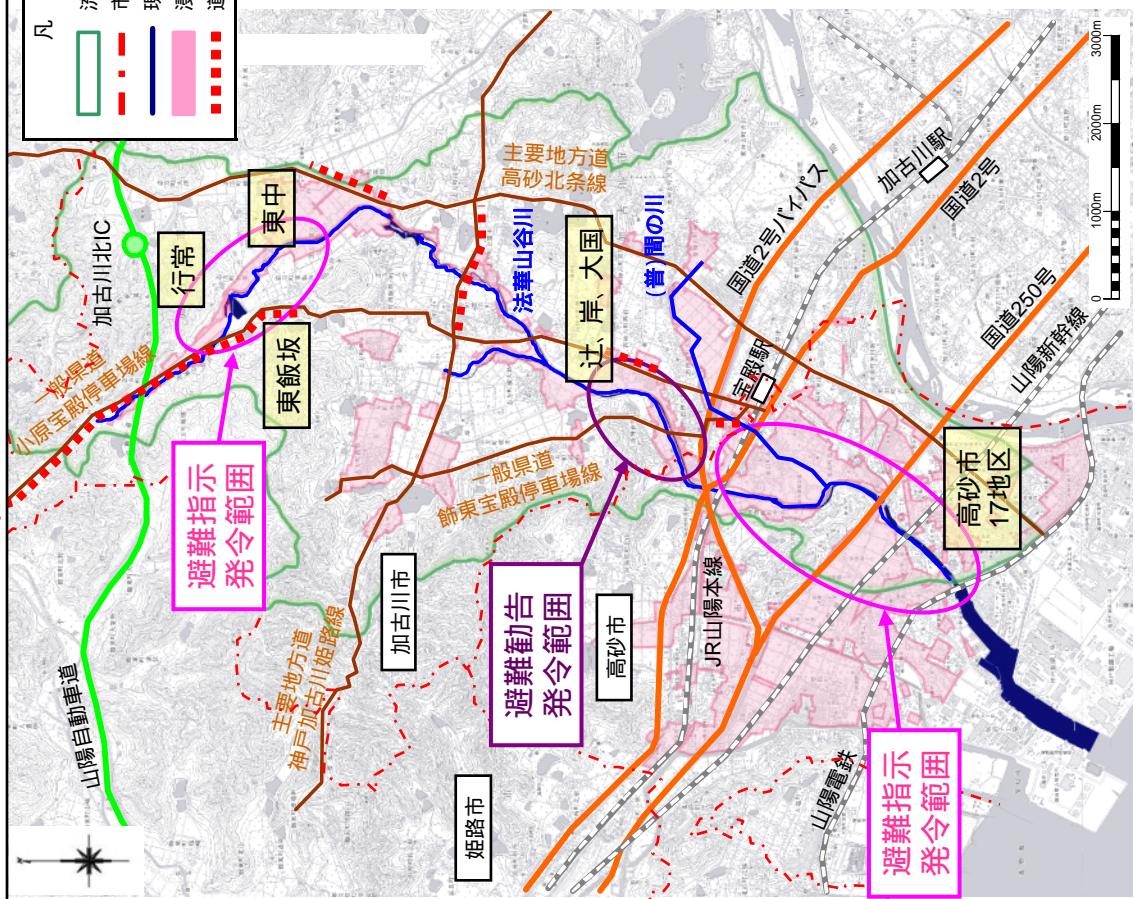
発生年月	起因	浸水家戸数
平成2年9月	台風19号	267戸
平成16年10月	台風23号	66戸
平成23年9月	台風12号	1,640戸



平成23年9月5日神戸新聞

被災・出水状況(平成23年9月台風第12号)

JR山陽本線、山陽電鉄及び主要地方道神戸加古川姫路線等の交通網が不通。
加古川市3地区(志方町:行常、東飯坂、東中)、高砂市17地区((二)法華山谷川沿川地区)に対し避難指示発令。



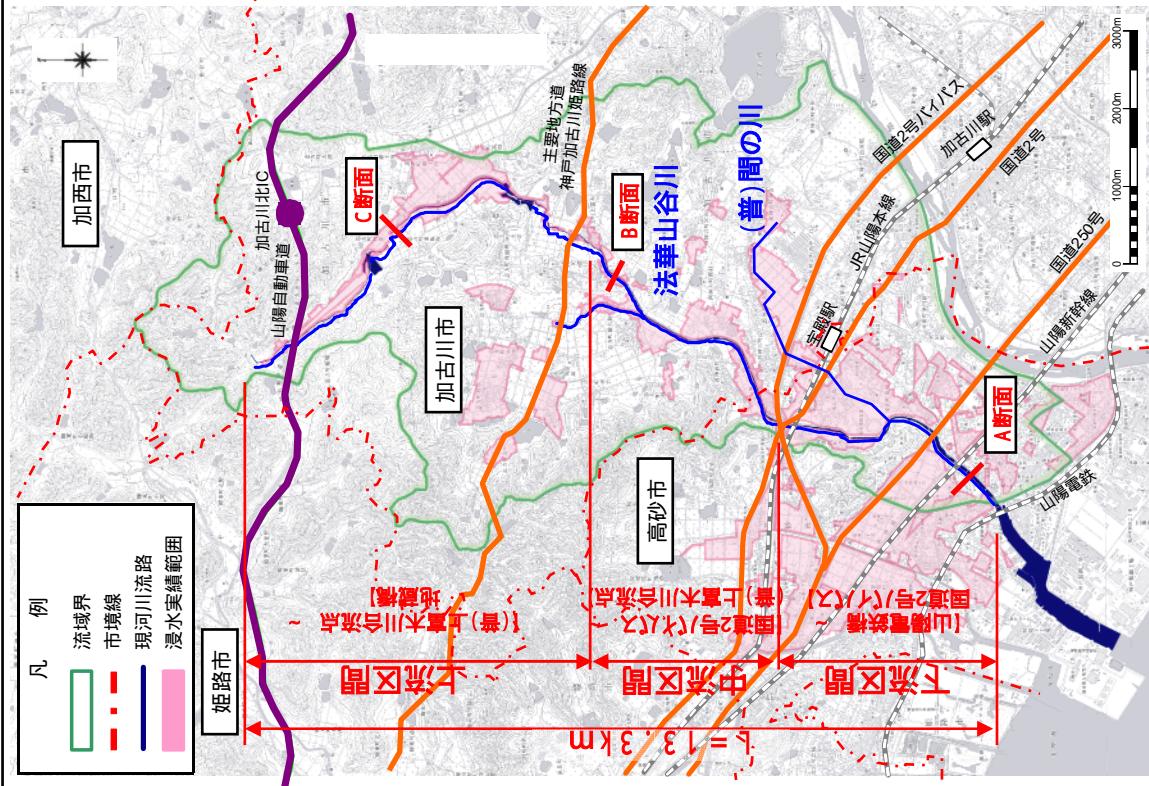
例	流域界	市境線	現河川流域	浸水実績範囲	道路通行止め
JR山陽本線() [加古川～姫路間]					
山陽電鉄() [東二見～姫路間]					
主な一般道路の通行止め					
主要地方道高砂北条線					
1箇所() 冠水)					
主要地方道 神戸加古川姫路線					
1箇所() 冠水)					
一般県道 飾東宝殿停車場線					
1箇所() 冠水)					
一般県道 小原宝殿停車場線					
2箇所() 冠水、冠水、崩土)					
避難指示					
加古川市3地区(181世帯 485人)(行常、東飯坂、東中)					
志方町(行常、東飯坂、東中)					
高砂市17地区(12,169世帯、30,676人)					
(法華山谷川沿川地区)					
避難勧告					
加古川市3地区(西神吉町・辻、岸、大國)					
(おおに					



浸水状況(一般県道小原宝殿停車場線)

法華山谷川河川改修の概要

台風第12号洪水と同規模の洪水に対して、床上浸水の解消を目標とした河川改修を実施することにより、再度災害を防止し、地域住民の安全・安心を確保する。



区間	改修方針
上流区間 [(普)上富木川合流点～地蔵橋]	<ul style="list-style-type: none"> 殆ど区間で流下能力が不足している。 そのため、既設の護岸を活用しながら、引堤及び河床掘削等により必要な河積を確保する。 <p>引堤</p> <p>現河川断面 河川改修断面</p> <p>C断面</p> <p>H.M.L TP+30.33 H.M.L TP+48.48 D.L. 25.00</p> <p>3.00 1.72 3.00 0.9 0.5 0.9 2.0 1.0 2.0 1.0 0.5 1.0 H.M.L TP+30.33 H.M.L TP+48.48 D.L. 25.00</p>
中流区間 [国道2号バイパス～(普)上富木川合流点]	<ul style="list-style-type: none"> 沿川には人家が密集し、道路橋が多数存在する。 そのため、現況河川幅内で護岸勾配の変更(1割 5分)や河床掘削等により必要な河積を確保する。 <p>現河川断面 河川改修断面</p> <p>B断面</p> <p>D.L. 5.00</p> <p>3.00 19.06 3.00 0.9 3.80 0.9 1.2 1.2 1.2 H.M.L TP+9.62 H.M.L TP+5.82 D.L. 5.00</p>
下流区間 [山陽電鉄橋梁～国道2号バイパス]	<ul style="list-style-type: none"> 沿川には人家が密集し、JR山陽本線や国道2号などの主要交通が多数横断しており、拡幅が困難である。 そのため、現況河川幅内で河床掘削等により必要な河積を確保する。 <p>現河川断面 河川改修断面</p> <p>A断面</p> <p>3.00 47.36 3.00 0.9 31.24 0.9 1.2 1.2 1.2 H.M.L TP+4.38 H.M.L TP+4.38 D.L. 4.38</p>

1. 実施工程表

	H25	H26	H27	H28	H29
測量・調査・設計					
用地買収					
護岸					
河床掘削					
橋梁架替					
橋梁補強					
井堰・サイフォン					

2. 事業効果について

(1) 費用対効果

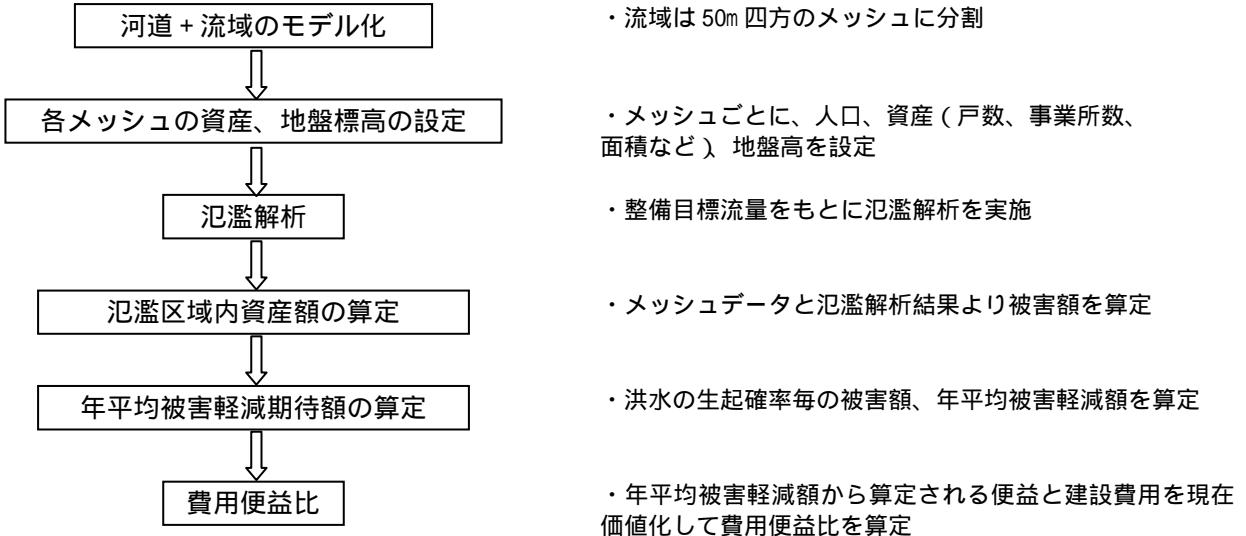
便益 (B) の項目

- 1) 便益 = 治水事業を実施することによる被害軽減期待額を現在価値化
被害額 = 一般資産被害（家屋、家庭用品、事業所償却資産、農漁家償却資産等）+ 農産物被害 + 公共土木施設等被害 + 営業停止被害 + 応急対策費用
- 2) 費用 = 「建設費 + 維持管理費」を現在価値化

<凡例>

実施計画

治水経済調査マニュアル（案）国土交通省河川局平成17年4月



費用便益比 (B / C) 算出根拠

便益 (B)		費用 (C)			B / C
総便益費 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
96,204	台風第12号洪水と同規模の洪水に対して、 ・床上浸水戸数424戸の軽減	12,638	11,398	1,240	7.6

(2) 費用対効果に含まれない効果

JR 山陽本線、山陽電鉄及び主要地方道神戸加古川姫路線等の交通途絶による波及被害の軽減
避難所（高砂市総合体育館）周辺の浸水被害の軽減
井堰改築に伴い魚道を設置することによる水面・河床の連続性の確保
従前からあった瀬や淵、みお筋等を可能な限り保全・復元
矢板護岸前面に捨石工を施すことによる生物の生活環境の確保
高水敷に散策路を整備することによる親水性の向上

河川事業の効果

対象事業：床上浸水対策特別緊急事業（広域河川改修事業）（二）法華山谷川

（1）費用対効果

評価の視点	効果項目（費用対効果の便益内容）
治水安全度の向上	浸水被害の軽減 <div style="margin-left: 20px; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一般資産被害 (家屋、家庭用品、事業所償却資産、農業家償却資産等) ・農産物被害、公共土木施設等被害、営業停止被害、応急対策費用 </div>

（2）費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等
社会経済活動等の安定	道路、鉄道等の交通途絶による波及被害の解消	JR 山陽本線、山陽電鉄及び主要地方道神戸加古川姫路線等の交通途絶による波及被害の軽減
	医療施設や防災拠点施設など重要施設被害等の解消	避難所（高砂市総合体育館）周辺の浸水被害の軽減
魅力ある河川空間の創造	多様な生物の生活環境の保全・再生・創出	・井堰改築に伴い魚道を設置することによる水面・河床の連続性の確保 ・従前からあった瀬や淵、みお筋等を可能な限り保全・復元 ・矢板護岸前面に捨石工を施すことによる生物の生活環境の確保
	親水空間の整備	高水敷に散策路を整備することによる親水性の向上

印は当該事業効果の主な項目